

特別賞

心療内科クリニックにも 私のガーデンを

中野涼子様



私は去年から12年ぶりに看護師に復帰して、週3回パートで心療内科に勤務しています。

低学年の時は頭痛や腹痛で学校をお休みすることが多かった息子が、小4になった頃、「お母さん、看護師さんしよ〜！」と頻りに言ってくるようになりました、そろそろ働こうかなと思ったときに知り合いのクリニックから「パートで働かない？」とお誘いがありました。

主婦をしている間、子育ての合間に

自宅の庭で薔薇を育て始め、近くの市の施設の園芸センターで薔薇や多肉植物の講習を受けたたり、ガーデニングサークルに入って花や植物のことを仲間と楽しく勉強してきました。

薔薇は初めは1株だったのが今では10株くらいに増え、5月にはたくさん花を咲かせ、その花で薔薇ジャムを作ってみたり、ドライフラワーにして楽しんでます。

今までは時々友人にブーケにしてプレ

ゼントしてみたり、薔薇ジャムを食べてみてもったりして喜んで貰っていました。クリニックに勤務を始めてからは、自分の勤務の時に必ず何かの花や、花がなければ綺麗な葉の植物を持って行って、受付と診察室に飾ろうと決め、まず出勤したら花を生けています。

自宅でも無農薬で育てた花なので、お店で売っているようにバランスが良く整ってはいませんが、私の愛情たっぷり!! 花の美しさだけではなく、薔薇の香り、カサブランカの香り、時にはバジルの花、春菊の花などお花屋さんでは売っていない花も持って行って、花と香りを楽しんでもらっています。

スタッフの皆さんにも喜んでもらい、患者さんからも「綺麗だね〜!」「いつも診察室にお花があつて嬉しいわ〜!」「これは何の花?」など嬉しい言葉をかけられたり、「孫にハガキ送るからちよつとスケッチさせてね!」と受付前でスケッチをする方もいたり、「ちよつと写真撮ってもいい?」と写真を撮ってもらえる方もおられました。これは私にとって、とっても嬉しい反応!!

ただの趣味で続けていたガーデニングをこんなに生

かせる環境はないと思ひ、ますますガーデニングが楽しくなってきました。

去年から毎回勤務時に花を持っていくことを始めて一年が経ち、5月の薔薇の次はアジサイで、アジサイの次はピヨウナギで、その次はカサブランカ、夏になつてくると花がないので涼しげな模様様のトラデスカンチア:バジル。

季節の移り変わりも感じられます。水に挿しておく根が出てくるのもあって、生命力の強さを感じてパワーをもらえる気がします。

講評



理事 水口 真理子

花やグリーンは見る人にやさらぎを与え、気分を明るくしてくれます。ご自身の趣味のガーデニングで気持ちややすらぎ癒やされることを実感したうえで、職場のスタッフさんや患者さんにもホッとする瞬間や季節の移り変わりを感じてもらおうという優しい気配りが作品から醸し出されています。

お子さんの成長を見守るのと同じ温かい目線で植物も成長を楽しみながらお世話されているのでしよう。生活にガーデニングを取り入れ、日々実践されていることを高く評価しました。